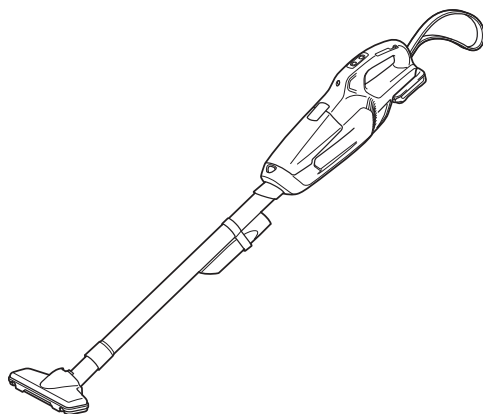




取扱説明書

充電式クリーナ

モデル **CL107FD**
(充電器 DC10SA 付)



このたびは**充電式クリーナ**をお買い上げ
賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよく
お読みいただき本機の性能を十分ご理解
の上で、適切な取り扱いと保守をしてい
ただいて、いつまでも安全
に能率よくお使いくださる
ようお願いいたします。

なお、この取扱説明書はお
手元に大切に保管してくだ
さい。



目次

・ 主要機能	3
・ 安全上のご注意	4
・ 各部の名称および標準付属品	13
・ 別販売品のご紹介	14
・ 使い方	15
・ バッテリーの取り付け・取りはずし方	15
・ バッテリー保護機能	16
・ バッテリーについて	16
・ バッテリーの充電方法	17
・ 充電表示ライトについて	18
・ 冷却システムについて	20
・ バッテリーを長持ちさせるには	20
・ バッテリーの回収について	20
・ 壁に取り付けて使用する場合	21
・ 充電器の点検・修理・保管について	24
・ スイッチの操作	25
・ 標準付属品の使い方	27
・ ゴミの捨て方	29
・ ダストバッグの取り付け方	31
・ 紙パックの取り付け方	33
・ 保守・点検について	35
・ 保管方法について	35
・ お手入れは	35
・ スポンジフィルタのお手入れ	36
・ スポンジフィルタの取りはずし方	36
・ スポンジフィルタの取り付け方	36
・ 修理をお申し付けされる前に	37
・ 充電式クリーナ 保証書	40

主要機能

主要機能 \ モデル	CL107FD
電動機	直流マグネットモータ
バッテリー	リチウムイオンバッテリー
	バッテリー BL1015 (容量 1.5 Ah)
電圧	直流 10.8 V
連続使用時間	パワフル：約 10 分 強：約 12 分 標準：約 25 分
集じん容量	500 mL (ダストバッグ) 330 mL (紙パック)
本機寸法	長さ 455 mm × 幅 112 mm × 高さ 150 mm (ストレートパイプおよびノズル 取り付け時の長さ 960 mm)
質量	1.1 kg (バッテリー BL1015 付、ノズル、 ストレートパイプなし)

充電器	DC10SA
入力電圧	単相交流 100 V
入力周波数	50-60 Hz
入力容量	80 W
出力電圧	直流 10.8 V
出力電流	直流 5 A

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ・ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。
- ・ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例



このような絵表示は、
してはいけない「禁止」
内容です。



このような絵表示は、
必ず実行していただく
「強制」内容です。

※イラストは参考例です。製品によりデザインが異なりますのでご了承ください。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

⚠ 警告

- 水洗いしない。また、風呂場など湿った場所や濡れた場所で使用しない。
 - 感電や発煙の恐れがあります。



- 絶対に分解したり修理・改造しない。
 - 発火したり、異常動作してけがをすることがあります。



- 子供に本製品や充電器で遊ばせない。
 - 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。



- クリーナの誤始動を防ぐために、次の作業の際は必ずスイッチを切り、バッテリーを抜く。



- ゴミ捨て
- フィルタ類の清掃（お手入れ）
- 保管
- その他危険が予想される作業

- 本製品にバッテリーを差し込む際は、スイッチが入らないように注意する。
 - スイッチに指をかけるなど、スイッチが入る状態でバッテリーを装着すると、急に動きだし事故の原因になります。



- 本製品の吸込口や排気口に手、髪または身に着けたものを入れない。
 - けがの原因になります。



⚠ 警告

- ・ 屋外で使わない。



- ・ 誤って落とししたり、ぶつけたときは、本製品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検する。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。



- ・ 以下のものは吸わせない。火災やけがやモータの故障の原因となる。



引火性物質

- ・ 油類（灯油・ガソリンなど）
- ・ 溶剤（ベンジン、シンナーなど）
- ・ マッチ、線香、ろうそく、熱い灰など火のついているもの、たばこの吸殻などの煙の出ているもの、および高熱のものなど
- ・ トナーなどの可燃物
- ・ 塗料
- ・ 金属の切断作業および研削作業中に発生する研削火花や金属粉など
- ・ 可燃性ガス（スプレーなど）
- ・ じゅうたん洗剤などの泡状のものなど

爆発性物質

- ・ ニトログリセリンなど

発火性物質

- ・ アルミニウム・マグネシウム・チタン・亜鉛・赤リン・黄リン・セルロイドやそのほか化学物質など、およびそれらの粉じん・ガス・蒸気

鋭利なもの

- ・ ガラス、刃物、木片、金属、石、釘、カミソリ、押しピン、針、クリップなど

固化するものや導電性の微粉（金属粉・カーボン）

除湿剤

大量の粉末（小麦粉、灰、消火器の粉など）

中毒症状を起こす物質

薬品類

液体や湿ったゴミ

動物などの排泄物、吐しゃ物

⚠ 警告

- ・ 使用中、本製品の調子が悪かったり、異臭や発熱、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止する。



- ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。

- ・ マキタが指定した付属品や別販売品以外を使用しない。



- ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品や別販売品以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあります。

- ・ 作業場の周囲状況も考慮する。



- ・ 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は事故の恐れがあります。

- ・ 無理な姿勢で作業をしない。



- ・ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

- ・ 火気や暖房器具などに近づけない。



- ・ 本製品の変形による短絡（ショート）、発火の原因になります。

- ・ 引火性のもの（ガソリン、ベンジン、シンナー、ガスなど）の近くで使ったり、充電したりしない。



- ・ 爆発や火災の原因になります。

⚠ 警告

・ 損傷した部品がないか点検する。



- ・ 使用前に、部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・ 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- ・ 破損した部品の交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- ・ スイッチで始動、および停止操作のできない充電製品は、使用しないでください。

・ 充電式クリーナは、注意深く手入れをする。



- ・ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ・ 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。

・ 温度が 50℃を超える可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しない。



- ・ 本製品の変形による、短絡（ショート）、発火の原因になります。
- ・ 内蔵のバッテリーが劣化する原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

・ 使用しない場合は、きちんと保管する。



- ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。事故の恐れがあります。

・ 雨中で充電したり、ぬれた手で電源プラグやバッテリーを抜き差ししない。充電器の端子に金属片や水などの異物を近づけない。



- ・ 感電やけがをすることがあります。

⚠ 警告

- ・ 交流 100 V で充電する。



- ・ 昇圧器などのトランス類を使用したり、直流電源で充電しないでください。火災の原因になります。
- ・ ラベルに **発電機** の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。

- ・ 火災の恐れがあるので、次のようなことをしない。



- ・ ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、たたみ、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
- ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを差し込まないでください。
- ・ 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

- ・ 充電中、異常発熱などの異常に気がついたときは、直ちに充電器の電源プラグを抜いて充電を中止する。



- ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

- ・ 専用の充電器以外は使用しない。



- ・ バッテリーの液もれ、発熱、破裂の原因になります。
- ・ 充電器は充電以外の用途に使用しないでください。

- ・ 充電器は充電以外の用途に使用しない。また、バッテリーや充電器をマキタが指定した機器以外に使用しない。



- ・ 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけない。



⚠ 警告

• 充電器のコードを乱暴に扱わない。



- コードを持って充電器を運んだり、プラグコードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、薬品、角のある所に近づけないでください。
- コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。

• 充電器のコードが傷んだり、電源プラグの差し込みがゆるいときは使用しない。



- 感電、短絡（ショート）、発火の原因になります。

• 充電器に使用する延長コードは、使用環境に適したものを使用する。



- 延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm ²	30 m

- 充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の効率で支障なくご使用していただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

• 充電しないときは、充電器を電源コンセントから抜く。



- 絶縁劣化による感電、漏電、火災の原因になります。

• バッテリーは発熱、発火、破裂の恐れがあるので、次のようなことをしない。



- 端子に金属類を接触させないでください。
- 釘や硬貨などが入った袋や箱の中に入れないでください。
- 雨や水にぬらさないでください。
- 分解、改造はしないでください。
- 火中に投入しないでください。

• 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液もれすることがあるため、もれ出た液体に不用意に触れない。



- 万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。バッテリーの液は炎症ややけどの原因になることがあります。

⚠ 警告

- マキタ指定以外のバッテリー、改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しない。また、バッテリーをマキタが指定した製品以外で使用しない。

- 本製品の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。



- バッテリーや充電器を充電中に布などで覆わない。

- 換気の良い場所で充電してください。発熱や破裂、発火の原因になります。



- 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しない。

- 発熱や破裂、発火の原因になります。
- 損傷、または使用できなくなったバッテリーは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。



- 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しない。

- 継続して使用すると、発熱や破裂、発火の原因になります。



- バッテリーは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。該当するバッテリーを輸送する際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従う。

- 電力量は、バッテリー裏側の注意ラベルに記載されています。（右図の○部分）



- 使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てない。

- 棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。



⚠ 注意

- ・ 付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付ける。

- ・ 確実でないと、はずれたりして、けがの原因になります。



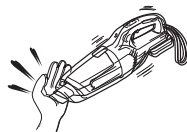
- ・ フィルタを正しく取り付ける。

- ・ フィルタを確実に取り付けないまま使用したり、穴のあいたフィルタを取り付けての使用などは、モータ部にゴミが入り、故障および発火の原因になります。



- ・ 吸込口をふさいで長時間運転しない。

- ・ 過熱による本製品の変形、発火の原因になります。



- ・ 排気口をふさがない。

- ・ 火災の原因になります。



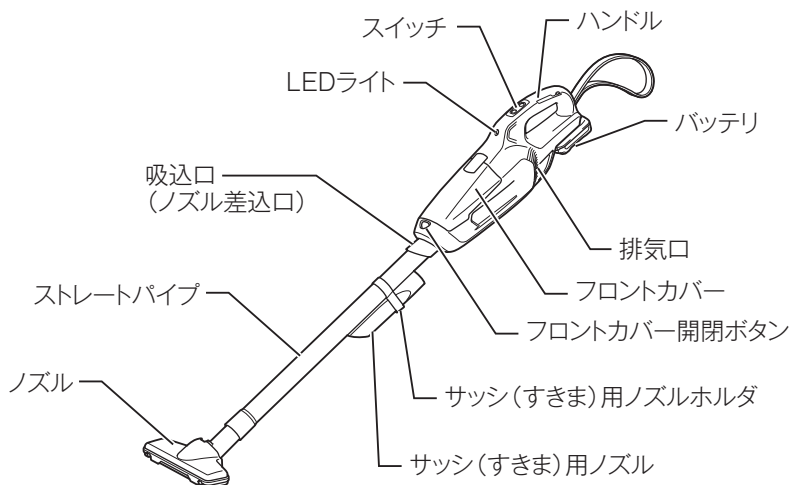
- ・ 高所で使用するときは、本製品を落下しないように注意する。また、持ち運ぶときはノズルやストレートパイプを持たないで必ず本製品のハンドルを持って運ぶ。

- ・ 本製品や付属品がはずれたりして落下すると、けがや故障の原因になります。

- ・ ハンドル以外を持って持ち運ぶと、本製品からはずれるなど落下の原因になります。



各部の名称および標準付属品



標準付属品

標準付属品	モデル	CL107FDZ	CL107FDSH
バッテリー (容量)		×	○ バッテリー BL1015 (1.5 Ah)
充電器 (充電時間)		×	○ DC10SA (約 22 分)
ノズル		○	○
ストレートパイプ		○	○
サッシ (すきま) 用ノズル		○	○
サッシ (すきま) 用ノズルホルダ		○	○
ダストバッグ		○	○
紙バック (10 枚入)		○	○
バッテリーカバー		×	○

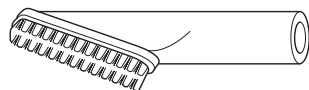
別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げ販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

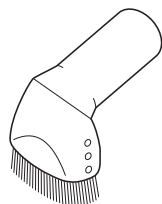
- ・ フレキシブルホース(スノーホワイト)
部品番号：A-65925
(自由に曲がるため、車などの狭い場所の掃除に便利です。)



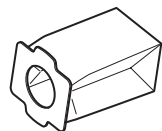
- ・ 棚ブラシ (スノーホワイト)
部品番号：A-65931



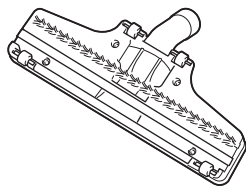
- ・ ラウンドブラシ(スノーホワイト)
部品番号：A-65947



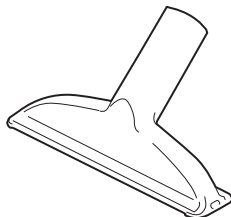
- ・ 抗菌紙パック (10 枚入)
部品番号：A-48511



- ・ フロア・カーペットノズル(スノーホワイト)
部品番号：A-59950
(カーペット掃除でのゴミ捕集率が高く、フローリングでも使用可能です。)



- ・ シートノズル (スノーホワイト)
部品番号：A-67022



- ・ ダストバッグ (1 枚入り)
部品番号：A-43957

- ・ 高機能ダストバッグ (1 枚入り)
部品番号：A-58257

- ・ バルブステーコンプリート
部品番号：142650-6

- ・ バッテリー BL1015 (容量 1.5 Ah)
部品番号：A-59841

- ・ バッテリー BL1040B (容量 4.0 Ah)
部品番号：A-59863

使い方

バッテリーの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

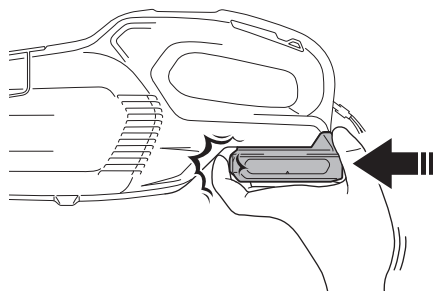
バッテリーは確実に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

- ・ 差し込みが不十分ですと、はずれて事故の原因になります。

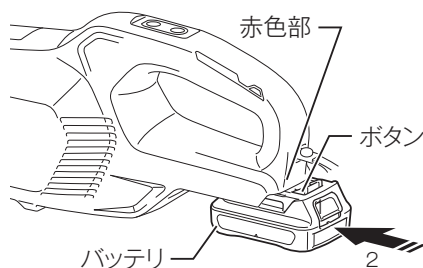
⚠ 注意

バッテリーを取り付ける際は、本機とバッテリーの間で指をはさまないようにしてください。

- ・ けがの原因になります。



- ・ バッテリーを本機から取りはずすときは、
 1. バッテリー正面のボタンを下げながら
 2. スライドさせると取りはずせます。
- ・ 取り付けるときは逆の要領で、本機の溝に合わせ、奥まで挿入してください。この際、ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまで、奥まで確実に挿入してください。



使い方

バッテリー保護機能

バッテリー寿命を長くする目的で出力を自動停止する保護機能がついています。本機を使用中、下記状態になりますとモータが自動停止しますが、これはバッテリーの保護機能によるものであり故障ではありません。

- ・ 本機が過負荷状態になるとモータが自動停止します。
このときはいったんスイッチを放し、本機よりバッテリーを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。
- ・ バッテリーの温度が高温になるとモータが自動停止します。このときはバッテリーの使用を中断し、本機よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを冷ますかまたは、充電してください。
- ・ バッテリーの容量が少なくなるとモータが自動停止します。このときは本機よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを充電してください。

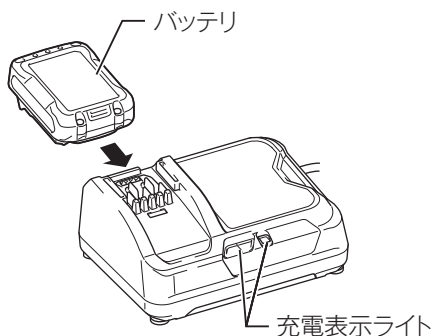
バッテリーについて

- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていないため、バッテリー保護機能が働いている場合があります。（スイッチを操作すると本機は動く恐れがありますので注意してください。） ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・ 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。

使い方

バッテリーの充電方法

1. 充電器の電源プラグを 100 V の電源コンセントに差し込んでください。
充電表示ライトは「緑」の点滅を繰り返します。
2. バッテリーを充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れてください。
3. バッテリーを挿入しますと充電表示ライトが「赤」に点灯し、充電を開始します。充電が完了すると「緑」の点灯に変わります。
充電時間は周囲温度（10℃～40℃）やバッテリーの状態（新品・長期保存バッテリーや寿命に近いバッテリーなど）により変動します。
4. 充電完了後すぐに使用しない場合は、バッテリーの冷却を行いますので、そのまま差し込んでおくことをおすすめします。冷却時間は約30分です。
5. バッテリーを抜き取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。



使い方

充電表示ライトについて

充電表示ライトの内容は以下のようになっています。
(通常充電時のライト表示および表示内容)

点灯 点滅 ライト表示	表示内容
	充電前「緑1個」点滅 電源に差し込んだ状態です。
	冷却中「赤1個」点滅 バッテリー・充電器が充電可能な温度状態になった後、自動的に充電開始します。
	充電中「赤1個」点灯 バッテリー容量 約0~80%を示します。
	80%充電「赤1個・緑1個」点灯 バッテリー容量 約80~100%を示します。 (80%充電表示は、おおよその目安です。 バッテリーの温度・状態により変動します。)
	充電完了「緑1個」点灯

(異常時のライト表示および表示内容)

	充電不可「赤・緑1個」交互点滅 バッテリー寿命またはゴミづまりで充電できません。
	冷却異常「黄」点滅 冷却ファン故障、または冷却不足です。

注

- DC10SA はマキタバッテリー専用の充電器です。他の目的に使用しないでください。
- 使用直後のバッテリーや直射日光の当たる所に長時間放置したバッテリーを充電されますと充電表示ライトが「赤」の点滅を繰り返す場合があります。このようなときは、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリーを冷却してから充電を開始します。
- 充電開始後、充電表示ライトが「赤・緑」の交互点滅を繰り返した場合は、バッテリーの寿命またはゴミづまりで充電できません。
- 充電時間は周囲温度やバッテリーの状態により長くなることがあります。
- 次のような状態のときは、充電器またはバッテリーに故障があると考えられますので、充電器とバッテリーの両方を、お買い上げの販売店、または当社営業所へお持ちください。
 - × 充電器のプラグを 100 V の電源に差し込んでも、表示ライトが「緑」に点滅しない。
 - × バッテリーを挿入しても、表示ライトが「赤」に点灯または点滅しない。
 - × 充電開始後、表示ライトが「赤」に点灯した後、4 時間以上たっても充電が完了しない。(表示ライトが「緑」に変わらない)。
- バッテリーを使用しないときは、バッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。

使い方

冷却システムについて

- ・ バッテリーの性能を十分に発揮させるため、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリーを効率良く冷却するシステムです。送風の音がしますが故障ではありません。
- ・ 冷却ファンが故障したり、充電器やバッテリーのゴミづまりによって冷却不足となった場合、「黄」のライトが点滅し冷却システム異常をお知らせします。冷却システム異常の場合も充電を行いますが、充電時間が長くなることがあります。このようなときは、充電器、バッテリーの風穴がふさがれていないか、または送風の音がしないか、ご確認ください。
- ・ 充電中、送風の音がしない場合がありますが、「黄」のライトが点滅していなければ故障ではありません。冷却ファンを停止して充電することがあります。
- ・ 充電器、バッテリーの風穴をふさがないでください。
- ・ 頻繁に「黄」のライトが点滅するようなときは、点検・修理をお申し付けください。

バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 使用直後などの熱くなったバッテリーは、充電器に差し込んで冷却してから充電することをおすすめします。

バッテリーの回収について

- ・ 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。



リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

使い方

壁に取り付けて使用する場合

⚠ 注意

- ・ 壁に取り付けて使用する場合は、必ず吊下げ用ネジ 2 本で確実に吊下げてください。
- ・ 充電器を吊下げた後は、固定用ネジなどにより充電器を固定してください。固定が不十分な場合、充電器からバッテリーを抜き取る際に充電器が落下する恐れがあります。
- ・ 取り付け作業を行うときは、バッテリーを抜き取り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ・ 取り付け作業を途中で中断すると落下などの恐れがあります。取り付け手順を守り、最後まで確実に取り付け作業を行ってください。
- ・ 定期的にネジのゆるみがないか確認してください。
- ・ ネジのゆるみがあると充電器が落下する恐れがあります。
- ・ 定期的に充電器の端子部を掃除してください。
- ・ 端子部の掃除を行うときは、エアダスターなどでていねいに行ってください。
- ・ 充電器本体、バッテリーの総重量は、約 1.1 kg になります。取り付け場所の耐荷重が不足する場合は、十分な補強を行ってください。

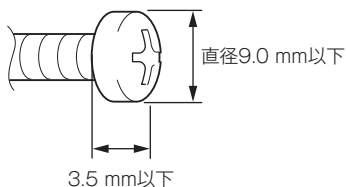
※この充電器は横配置と縦配置の 2 方向で壁に掛けることができます。

壁面への充電器の取り付けは、次の手順で行ってください。

1. 事前準備

用意するもの（別途準備してください）

- ・ 木ネジ（吊下げ用）4 mm × 20 mm 以上：2 本
※ネジ頭は下図の寸法としてください。



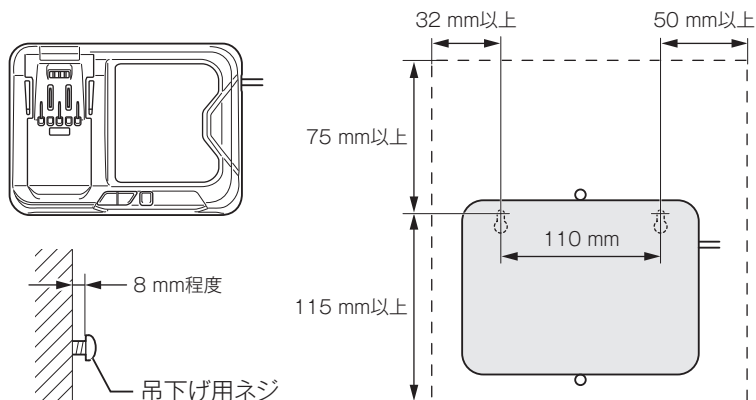
- ・ 木ネジ（固定用ネジ 1）4 mm × 25 mm 以上：1 本
- ・ 木ネジ（固定用ネジ 2）4 mm × 40 mm 以上：1 本
- ・ 工具（ネジ締め用）

使い方

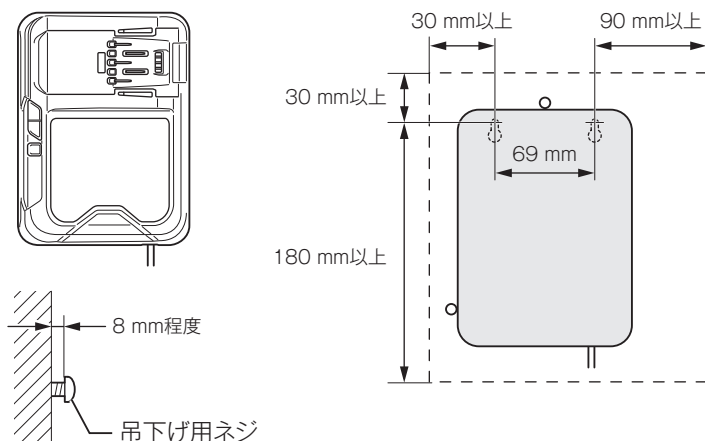
2. 吊下げ用ネジの取り付け

周りに充電器の取り付け作業や、バッテリーの充電作業の障害になる出っ張りなどが無い、強度のある壁面に取り付けてください。

[横配置の場合]



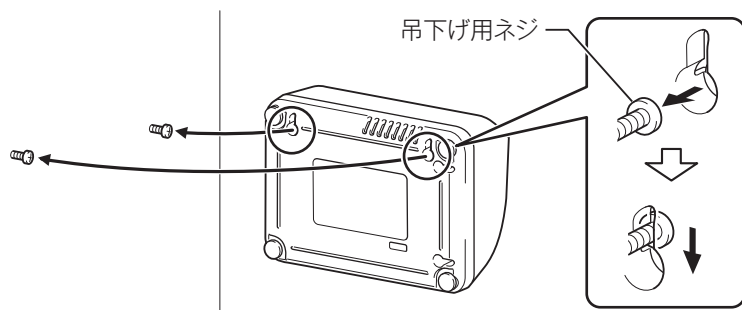
[縦配置の場合]



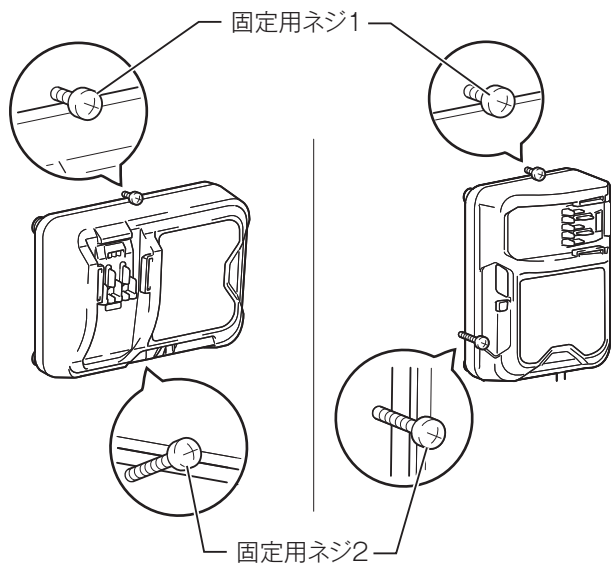
使い方

3. 充電器の取り付け
手順 2 で取り付けした吊下げ用ネジに充電器を引っかけてください。

例:横配置で取り付ける場合



4. 充電器の固定
固定用ネジを図のように締め込んでください。



[横配置の場合]

[縦配置の場合]

充電器の点検・修理・保管について

- ・ いつも安全に能率よくお使いいただくために定期点検をおすすめします。
修理・点検はお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 充電器の保管場所として次のような場所は避けてください。
 - × お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる所
 - × 温度や湿度の急変する所
 - × 湿気の多い所
 - × 直射日光の当たる所
 - × 揮発性物質の置いてある所

使い方

注

- ・ ご使用前にダストバッグまたは紙パックが正しく入っていることを確かめてからご使用ください。正しく入っていないとモータ部にゴミが入り、故障の原因になります。(P31 参照)
- ・ クリーナの紙パックは、本機性能を維持するための大切な機能部品です。そのため、純正以外の紙パックを使用した場合はモータの発煙、発火する恐れがあります。
- ・ 故障を防ぎ、バッテリーを長持ちさせるために、使用後は必ずスイッチを切ってください。

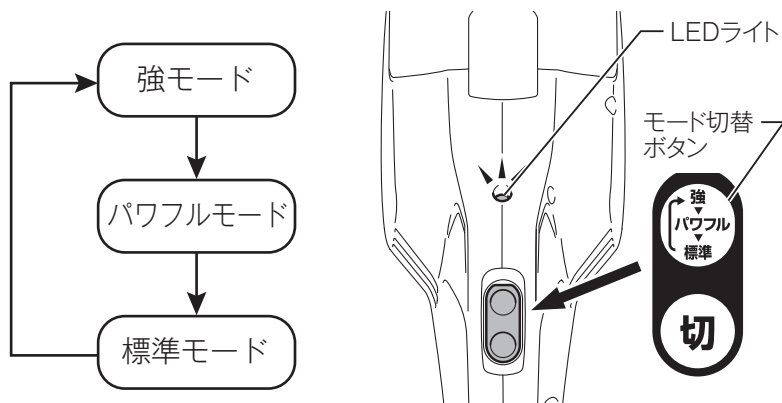
スイッチの操作

- ・ 本機は必要に応じて「吸引力」を①強モード（約 12 分）、②パワフルモード（約 10 分）、③標準モード（約 25 分）の三段階に切り替えて使用できます（カッコ内は連続使用時間）。

モードについて

- ① 強モード：汚れのひどい場所でお使いください。
- ② パワフルモード：「強モード」では対応できない汚れのひどい場所でお使いください。
- ③ 標準モード：汚れが少ない場所の掃除に最適です。

- ・ 「モード切替ボタン」を 1 回押すごとにモードが変わります。
- ・ 電源が切れている状態から 1 回押すと「強モード」になります。
- ・ 「切ボタン」を押すと本機の電源が切れます。



使い方

バッテリー切れお知らせ機能

- ・ 使用中にバッテリーの容量が少なくなると LED ライトが点滅してお知らせします。
- ・ バッテリーの容量が更に少なくなるとモーターが自動停止し、LED ライトが消灯します。このときはバッテリーを充電器で充電してください。

注

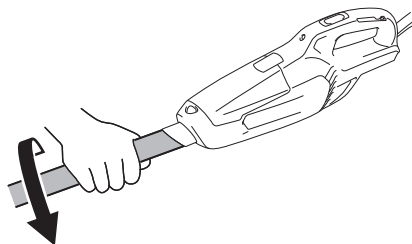
- ・ バッテリー切れお知らせランプの点灯、点滅のタイミングは、周囲の温度やバッテリーの状態によって変化します。

使い方

標準付属品の使い方

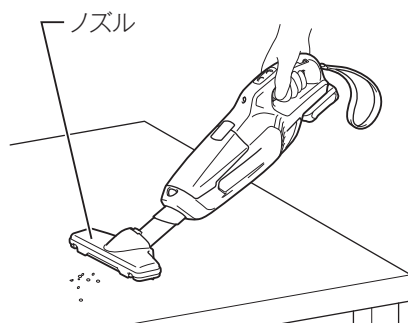
⚠ 注意

- ・ ノズルやストレートパイプは使用中に抜けないように、ねじりながらしっかりと差し込んで取り付けてください。



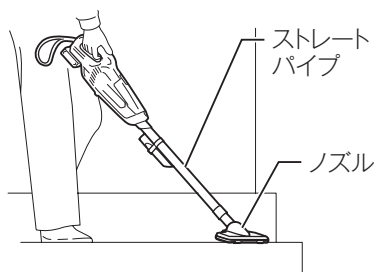
ノズル

- ・ テーブル・家具・棚などの上を掃除される場合は、ノズルを本機に直接差し込んで、ご使用ください。



ノズル+ストレートパイプ

- ・ たたみ・カーペット・床など低い所を掃除される場合は、本機とノズルの間にストレートパイプを差し込めば立ったままの姿勢で楽に掃除ができます。



使い方

サッシ（すきま）用ノズル

- ・ 自動車の中や家具のすきまおよびサッシの溝などを掃除されるときは、サッシ（すきま）用ノズルを本機に直接差し込んで、ご使用ください。



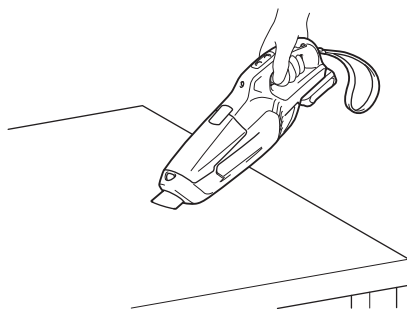
サッシ（すきま）用ノズル+ストレートパイプ

- ・ 家具の奥など本機が当たって入らないときや高い所のすきまなどを掃除されるときは、サッシ（すきま）用ノズルと本機の間にストレートパイプを差し込んで、ご使用ください。



ちょっとした掃除に

- ・ こぼした粉などの吸い込みは直接本機でできます。



使い方

⚠ 警告

フィルタ類を交換、清掃する際は、必ずスイッチを切り、本機よりバッテリーを抜いてください。

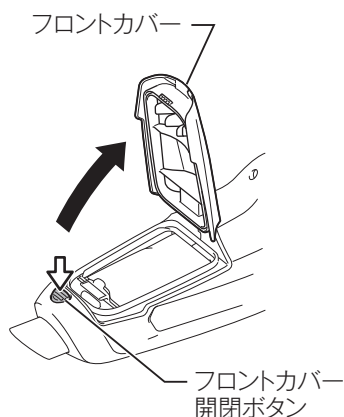
- ・ バッテリーを取り付けたまま、不意にスイッチが入るとファンが回りだし、けがや故障の原因になります。

指や棒などをファンに近づけないでください。

- ・ けがや故障の原因になります。

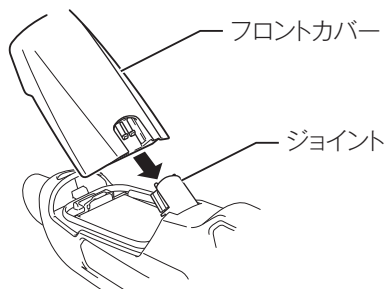
ゴミの捨て方

1. フロントカバー開閉ボタンを押し、フロントカバーを開けます。
“カチッ”と音がするまで開けるとその状態で固定できます。



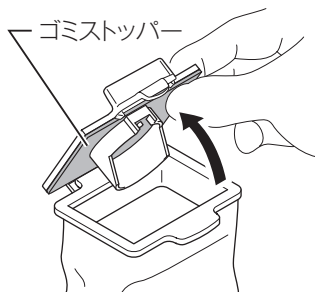
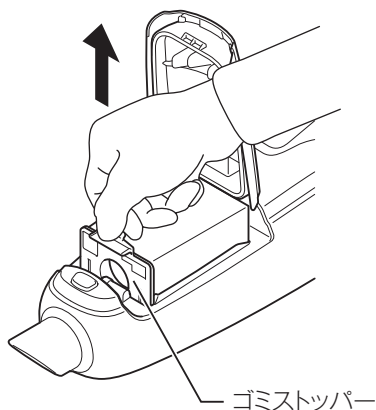
注

- ・ フロントカバーは 90° 以上開けようとすると、本機からはずれる構造になっています。はずれた場合は図のようにジョイントにフロントカバーを差し込んでください。
- ・ フロントカバーを閉めるときには指をはさまないように注意してください。

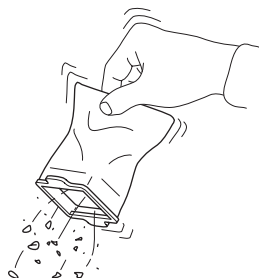


使い方

2. オレンジ色のゴミストッパーとダストバッグをいっしょに引き抜き、ゴミストッパーを取りはずします。



3. ゴミを捨てます。



注

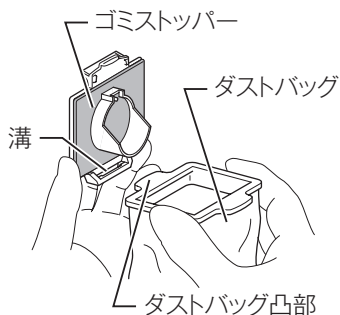
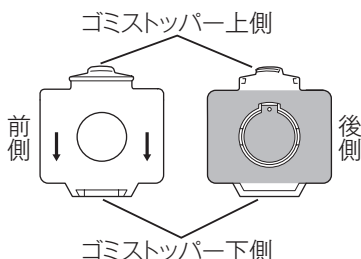
- ゴミストッパーを誤って捨てないでください。
- ゴミをためすぎますと吸込力が低下しますので、早目にゴミを捨ててください。
- 本機ケース内のゴミは必ず捨ててください。本機内部のスポンジフィルタの目詰まりや、モータ故障の原因になります。
- ゴミストッパーはダストバッグもしくは紙バックのどちらを取り付ける際にも使用しますので、捨てないでください

⚠ 注意

- ・ ご使用の際には、ダストバッグまたは紙パックのどちらかを取り付けてください。購入時にはあらかじめダストバッグが取り付けられています。
- ・ ゴミストッパーはダストバッグまたは紙パックのどちらを取り付ける場合も使用します。
- ・ ダストバッグは洗浄して繰り返し使用できます。(36 ページ参照)
- ・ 紙パックは使い捨てです。ゴミがたまりましたら紙パックごと捨ててください。再度使用はしないでください。目詰まりを起こして吸引力を落とします。
- ・ ダストバッグや紙パックを入れ忘れたり、奥までしっかり差し込まれていなかったり、破れたダストバッグや紙パックを使用されますとモータ故障の原因になります。
- ・ クリーナーの紙パックは、本体性能を維持するための大切な機能部品です。そのため、純正以外の紙パックを使用した場合はモータが発煙、発火する恐れがあります。
- ・ 紙パック取り付けの際は、口元の厚紙を曲げないように取り付けてください。

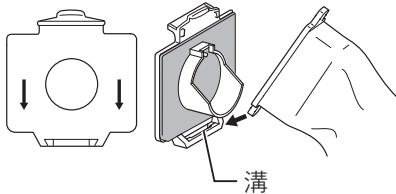
ダストバッグの取り付け方

1. 図のようにゴミストッパー下側の溝にダストバッグ凸部を差し込みます。

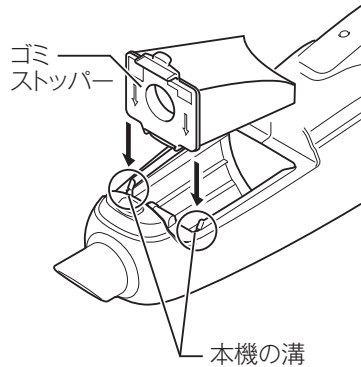
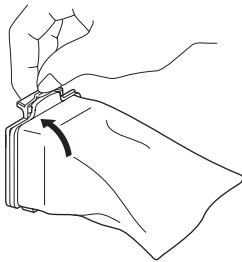


使い方

2. ダストバッグには上下方向の区別はありません。どちらか一方の凸部をゴミストッパー下側の溝に差し込んでください。
4. ゴミストッパーの矢印に合わせてゴミストッパーとダストバッグをいっしょに本機の溝に奥までしっかり差し込みます。



3. ゴミストッパーとダストバッグの枠を重ね合わせます。



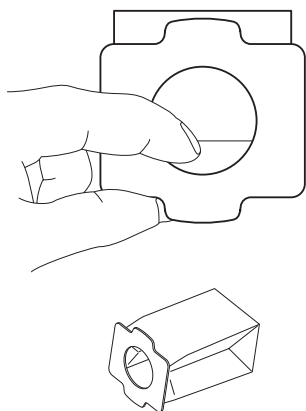
5. ダストバッグの布側を本機ケースに入れます。
6. フロントカバーを閉めます。



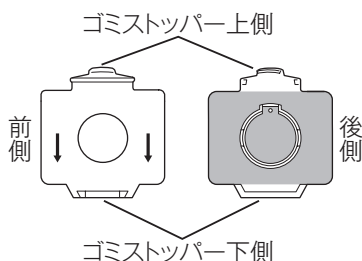
使い方

紙パックの取り付け方

1. 紙パックをご使用の際は、ゴミストッパーにセットする前に紙パックの入り口を広げてください。



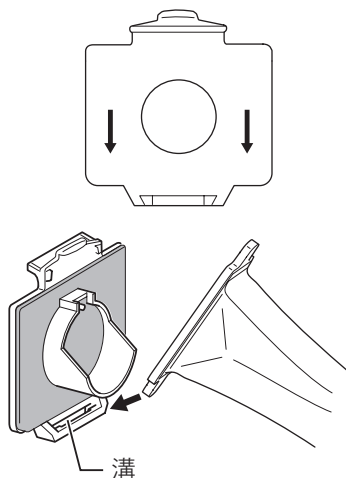
- ・ 紙パックの取り付けにもゴミストッパーを使用します。上下方向の区別があるのでお気を付けください。



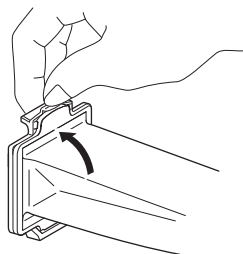
2. 図のようにゴミストッパー下側の溝に紙パック凸部を差し込みます。



3. 紙パックには上下方向の区別はありません。どちらか一方の凸部をゴミストッパー下側の溝に差し込んでください。

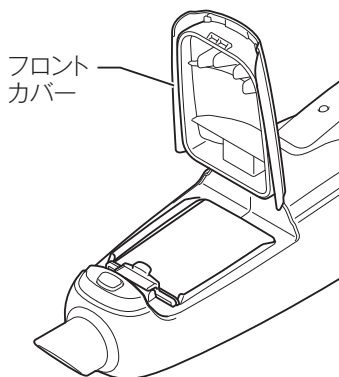
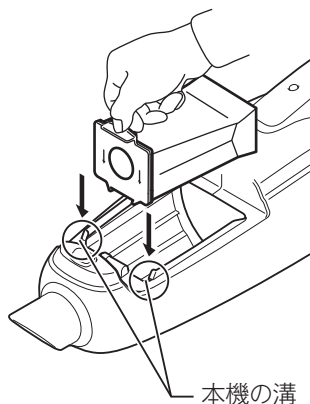


4. ゴミストッパーと紙パックの枠を重ね合わせます。



使い方

5. ゴミストッパーの矢印に合わせてゴミストッパーと紙パックをいっしょに本機の溝に奥までしっかり差し込みます。
6. 紙パックの袋側を本機ケースに入れます。
 - ・ 紙パックは使い捨てです。ゴミがたまりましたら紙パックごと捨ててください。

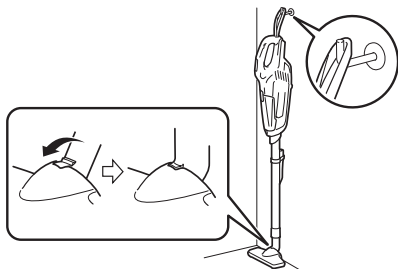


7. フロントカバーを閉めます。
 - ・ ゴミストッパーは捨てないで繰り返しご使用ください。

保守・点検について

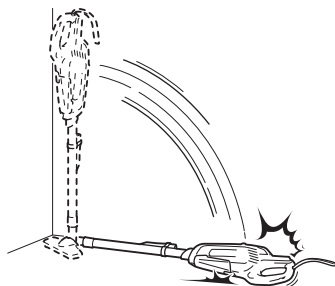
保管方法について

- ・ 保管するときは、ノズルの凹凸をはめ合わせ、ストラップで市販のフックなどに引っ掛けてください。



注

- ・ 市販のフックなどを使用せずに立て掛けると、転倒して故障する恐れがあります。



⚠ 警告

ゴミ捨てやフィルタ類を交換、清掃する際は、必ずスイッチを切り、本機よりバッテリーを抜いてください。

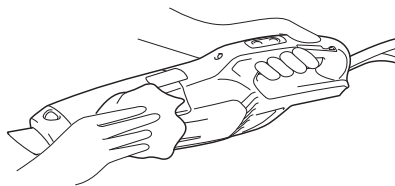
- ・ バッテリーを取り付けたまま、不意にスイッチが入るとファンが回りだし、けがや故障の原因になります。

指や棒などをファンに近づけないでください。

- ・ けがや故障の原因になります。

お手入れは

- ・ 本機の汚れは、布に石けん水を少量しみ込ませてふきとってください。
- ・ 吸込口、ダストバッグ収納部、ゴミストッパーに付いたゴミもふきとってください。



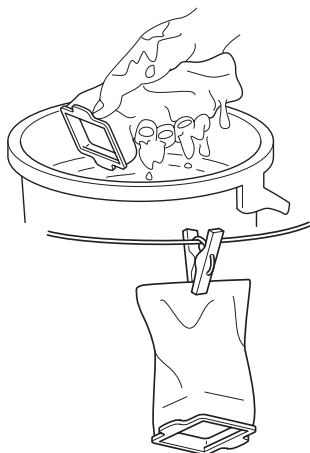
注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。変色、変形、ひび割れの原因となります。

保守・点検について

ダストバッグのお手入れ

- ・ ダストバッグが汚れて吸込力が低下したときは、ダストバッグを石けん水でもみ洗いし、十分に乾燥させてからご使用ください。
※紙バックは使い捨てです。

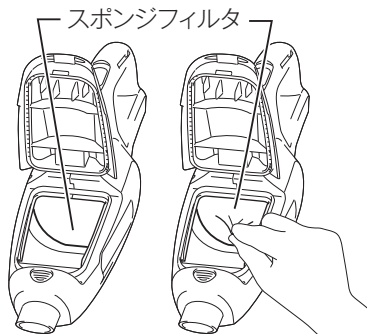


スポンジフィルタのお手入れ

- ・ スポンジフィルタの汚れは、本機からスポンジフィルタを抜き取り、はたか水洗いしてください。

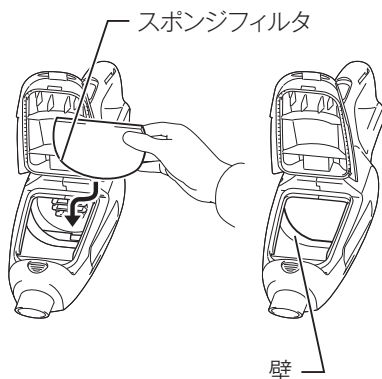
スポンジフィルタの取りはずし方

- ・ ダストバッグを取りはずし、ダストバッグ収納部の奥に見えるスポンジフィルタをつまんで抜き出します。



スポンジフィルタの取り付け方

- ・ ダストバッグ収納部奥の壁の内側にスポンジフィルタの端を全周押し込みます。



注

- ・ スポンジフィルタのお手入れをした後は、必ず本機にスポンジフィルタを装着してください。また、水洗いをした場合には、十分に乾燥させてから装着してください。モータ故障の原因になります。

保守・点検について

修理をお申し付けされる前に

症状	調べる所	直し方
吸込力が弱い	・ダストバッグまたは紙パックのゴミが一杯になっていませんか。	・ゴミを捨ててください。
	・ダストバッグが目詰まりしていませんか。	・ダストバッグをはたくか、水洗いしてください。
	・紙パックが目詰まりしていませんか。	・紙パックを交換してください。
	・バッテリーが消耗していませんか。	・充電してください。
動かない	・バッテリーが消耗していませんか。	・充電してください。

注

- ・ 上表に従ってお調べいただいても直らないときはバッテリーが寿命の可能性あります。その場合さらに充電されますと充電器も故障する場合がありますので、修理をお申し付けください。
- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げ販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 修理をお申し付けになる場合は、クリーナ本機の他にバッテリーと充電器もいっしょにお持ちください。
- ・ 保証期間中は、保証書の規定に従って修理させていただきますので、恐れ入りますが製品に保証書を添えてご持参ください。
- ・ 保証期間が過ぎているときは、お買い上げ販売店、または当社営業所にご相談ください。

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711（代表）

881A67F1

IWT